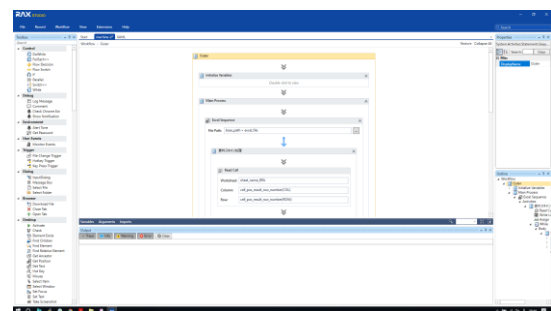


報道関係者各位

2019年7月4日
株式会社モンスター・ラボ
神戸市

モンスター・ラボと神戸市、RPA ツールを用いた業務自動化プロジェクトを実施 ～実証実験では教職員の給与支給業務の約 2,350 時間を削減！～

グローバルソーシング事業(世界中の IT エンジニア・クリエイターを活用したデジタルプロダクトの企画・開発・運用)を行う株式会社モンスター・ラボ(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：鯉川 宏樹<いながわ ひろき>)は、神戸市(市長：久元喜造)による 2018 年度の地域課題解決プロジェクト「Urban Innovation KOBE(※1)」に採択され、2019 年 12 月 28 日より教育委員会にてモンスター・ラボが開発した RPA ツール(※2)『RAX EDITOR(ラックス・エディター)<仮称>』を応用して作成した『手当計算ロボット』を導入し、実証実験を行いました。その結果、職員の給与支給業務のうち、通勤手当の決定に関する業務において年間で約 1,895 時間(削減可能な業務の約 73%)の作業を削減できる見込みとなり、さらに今後『手当計算ロボット』の機能拡充により、今年度中に作業の削減を年間 2,350 時間(削減可能な業務の約 90%)まで伸ばすことができる見込みとなりましたので、お知らせいたします。



協働により業務を削減した市職員とモンスター・ラボ社員(左)と今回導入した『RAX EDITOR<仮称>』(右)

■実証実験の目的

教育委員会事務局教職員課では、通勤届を元に教職員の通勤手当額を決定する作業が年間 5,492 時間を占めています。

従前の業務手順では、書類を一枚ずつ手作業で点検していましたが、本プロジェクトでは、職員が行っている作業を分析し、業務手順を組み替え、RPAの導入と開発を行い、業務の効率化を目的に実証実験を行いました。

	事前準備		通勤手当の決定
効率化後	RPAを導入し、届出書類が提出される前の段階で職員住所と勤務場所から対象職員の通勤経路と通勤手当額を自動判定	自動判定の結果と提出のあった届出書類を突合	自動判定結果と異なる内容の届出書類のみ手作業で点検・審査して、通勤手当額を決定 自動判定結果と同じ内容の届出書類は手作業が不要になった(給与システムに自動連携)
効率化前	(事前準備なし)		届出書類の提出を待ち地図や路線図を見ながら書類を一枚ずつ手作業で点検して手当額を決定

■実証実験の内容

(1)実証実験期間・効果検証期間

① 実証実験期間

2019年3月25日(月)～2019年5月10日(金)

② 効果検証期間

2019年5月13日(月)～2019年6月28日(金)

(2)実施内容

神戸市とモンスター・ラボで協力し、給与支給業務のうち、通勤手当に関する業務の効率化を検証しました。

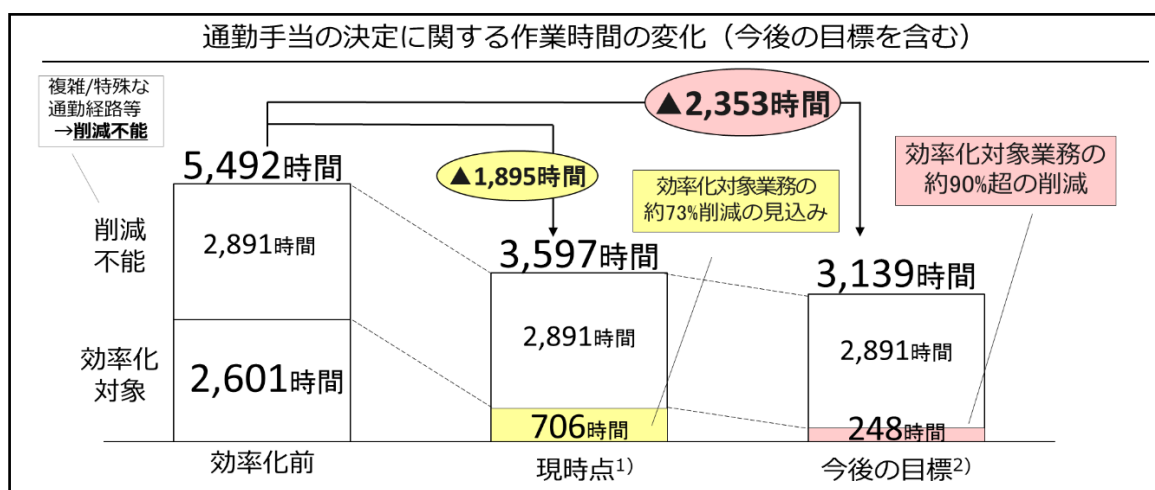
- ① 業務フローの分析、整理、改善に関する協働研究
- ② 業務を自動化・効率化するRPAツールの開発
- ③ 神戸市地理情報システム(GIS)の一部機能の活用
- ④ 業務の効率化前後の作業時間の比較、効果検証

(3)実験結果

- ①通勤手当に関する業務において、現時点で、年間約1,895時間を削減できる見込み

②今後、通勤手当に関する業務において、「手当計算ロボット」の認定の精度を高めるなど、今年度中の機能拡充により、年間 2,353 時間（①に加え、458 時間）が削減できるようになる見込み

③他の手当に関する業務にも展開することで、さらに業務を削減できる可能性がある



■ 『RAX EDITOR(ラックス・エディター) <仮称>』の特徴

- ・ソフトウェアの提供だけでなく、専門のコンサルタントが業務の見える化や業務の効率改善といった側面から包括的に支援
- ・ソフトウェアを自社開発しており、利用者のニーズに合わせた新機能追加などが可能
- ・労働人口が不足しがちな小規模企業、および個人でも導入がしやすい価格帯で提供

初期導入費用：5万円～（税抜）

月額利用料：5万円～（税抜）

■ 『RAX EDITOR(ラックス・エディター) <仮称>』の今後

モンスター・ラボは、RPA ツールを活用したさらなる業務効率化を実現し、利用者の働き方の多様化と労働生産性向上に寄与してまいります。そして、機械学習や AI といった技術を取り入れ、対象範囲を拡大していくことで、人々がより創造的な業務に注力できる社会の実現に貢献してまいります。

※1 「Urban Innovation KOBE」とは

起業・スタートアップ支援による神戸経済の活性化を目指す神戸市が、2017 度より実施しているスタートアップ・ベンチャー企業と市職員が協働して社会・地域課題を解決する国内自治体初のプロジェクト。

<http://urban-innovation-kobe.com/project/20181st/receipt-check/>

※2 RPA (Robotic Process Automation) とは

ソフトウェアロボットに指示を与え、人が行うパソコン上のマウスやキーボードの動作を自動化することができるツール。定型的な業務を自動化して効率化するツールとして導入が進んでいる。

■株式会社モンスター・ラボ グループ会社概要

国内約 300 名、グループ約 1,200 名のエンジニア・クリエイター集団として、世界の最適な場所の最適なリソースを提供するグローバルソーシング事業を世界 15 カ国 26 都市で展開し、音楽配信事業、モバイルゲーム事業、コワーキングスペース事業、RPA(ロボットによる業務自動化)ツールなどの自社プロダクト事業も行っています。

所在地：東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー 4F

設立：2006 年 2 月

資本金：28 億 8,162 万円(資本準備金含む)

代表者：代表取締役社長 鯉川 宏樹(いながわ ひろき)

URL：<https://monster-lab.com/>

■本件に関するお問い合わせ先

神戸市教育委員会事務局総務部教職員課

担当：藤原・大浦

TEL：078-322-6260(内線 6255)

FAX：078-322-6146

企画調整局医療・新産業本部新産業部新産業課

担当：多名部・三嶋

TEL：078-322-0240(内線 2191)

FAX：078-322-6072

株式会社モンスター・ラボ 経営企画室

担当：塩沢・山本

TEL：03-4455-7243(代表)

E-mail：branding-e@monster-lab.com

